

【NEWS RELEASE】

2021年10月29日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社オーテックに「SDG s 推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社オーテック（代表取締役社長：市原 伸一）に「SDG s 推進融資」を実施いたしました。

「SDG s 推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社オーテックについては、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

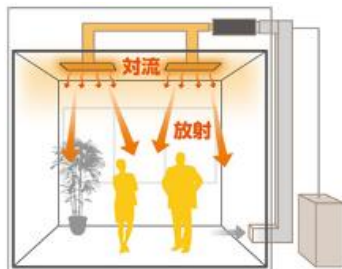
- ① 建物の設備を監視・管理する自動制御システムの設計施工およびメンテナンスならびに管工機材の販売を通じたエネルギー効率改善、インフラ整備、持続可能な都市化促進に対する貢献

目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.3 2030年までに、包括的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



中央監視システム
建物に関する自動制御システムの設計施工・メンテナンスにより運用管理の省力化に貢献します。



放射冷暖房システム
気流の発生しない放射冷暖房システムは医療・公共施設のエネルギー効率改善に貢献。



「宮城・東北 DreamProject」
©VEGALTA SENDAI
東日本大震災から10年を契機にJ1リーグベガルタ仙台のCSR活動に協賛しています。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。